



2026年3月3日

各 位

会 社 名 : フクビ化学工業株式会社  
代 表 者 名 : 代表取締役社長 森 克 則  
(コード番号: 7871 東証スタンダード・名証メイン)  
問 合 せ 先 : 広報・IR 推進室長 柏 直 樹  
(TEL: 0776-38-8415)

## 破損したピンポン玉を再利用したベンチ寄贈に関するお知らせ

当社は、滋賀県草津市立総合体育館および京都府向日市民体育館に、破損したピンポン玉を再利用したベンチ（屋外家具ブランド「Fandaline（ファンダライン）」の『ルシアンベンチ』）を寄贈しましたので、お知らせいたします。

### 【概要】

びわこ成蹊スポーツ大学（滋賀県大津市、学長：黒澤 毅）学生の、「破損したピンポン玉を再利用して、社会に還元できる製品に生まれ変わらせられないか」という提案をきっかけに、本プロジェクトはスタートしました。同大学が毎年開催している「ビジネスプランコンテスト」にて、本リサイクルプロジェクトが優秀賞を受賞。製品化の実現に向けて、当社にお声がけをいただいたことが始まりです。

当社が企業理念に掲げる「化学に立脚し、新たな価値を創造、提案する」「地域に貢献し、環境共生型社会形成に寄与する」という精神のもと、学生のアイデアを形にするべく検討を重ねました。その結果、学生の熱意と当社の技術を融合させることで、耐久性とデザイン性を兼ね備え、環境負荷を低減した「循環型社会」を象徴する製品が完成しました。

### 【製品の特長：ピンポン玉の再資源化】

ベンチの座面部分には、当社の木粉樹脂押出成形品（再生木『プラスッド』）を使用しています。今回の特別仕様モデルでは、本来廃棄されるはずだったABS樹脂製のピンポン玉を粉砕し、『プラスッド』の原料に配合して製造いたしました。

### 【寄贈について】

完成したベンチは、次の通り寄贈式が執り行われ、滋賀県草津市立総合体育館および京都府向日市民体育館に、1台ずつ設置されました。なお、寄贈先の選定につきましては、破損球の収集にご尽力いただいた滋賀県卓球協会と、Tリーグ 京都カグヤライズにご協力をいただきました。

寄贈品： 「Fandaline」『ルシアンベンチ 0618 LB』（D612×W1862×H400） 各1台

<https://fandaline.jp/product.html#linus>

《1回目》

日時： 2026年2月25日（水） 14時～  
場所： 滋賀県草津市立総合体育館（滋賀県草津市下笠町161）  
参加者： 滋賀県卓球協会 理事長 堀内 安宏 様  
合同会社草津市スポーツ振興事業体 辻田 明宏 様  
びわこ成蹊スポーツ大学 学長 黒澤 毅 様  
同 キャリアセンター長 清水 克彦 様  
同 学生（発案者） 北田 晃大 様  
フクビ化学工業株式会社 サステナビリティ推進室長 柏 直樹

《2回目》

日時： 2026年3月2日（月） 16時～  
場所： 向日市役所（京都府向日市寺戸町中野20）  
参加者： 向日市 市長 安田 守 様  
向日市教育委員会 教育長 山本 真也 様  
向日市スポーツ文化協会 理事長 水上 信之 様  
同 事務局長 北田 靖雄 様  
京都カグヤライズ 代表取締役 池袋 晴彦 様  
同 監督 小林 修平 様  
同 選手 出雲 美空 様  
同 選手 田村 美佳 様  
びわこ成蹊スポーツ大学 副学長 石井 智 様  
同 キャリアセンター長 清水 克彦 様  
同 学生（発案者） 北田 晃大 様  
フクビ化学工業株式会社 サステナビリティ推進室長 柏 直樹



集合写真（2/25実施分）は左から、辻田様、柏、北田様、黒澤様、堀内様

以上

< 本件に関するお問い合わせ先 >

フクビ化学工業株式会社 経営戦略本部  
サステナビリティ推進室 担当：柏・笠嶋 TEL：0776-38-8012